

魅力溢れる「栗山新時代」創生への前進！



栗山町長 佐々木 学

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、令和2年の輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えられること、心からお慶び申し上げます。

私が町政をお預かりして、早や1年9カ月が経過いたしました。この間の時間のゆるす限り、地域の活動やまちづくりの現場に足を運ぶ中で、「ふるさと栗山」を思う多くの町民の皆様、そして、栗山英樹さんやバービーさんをはじめ、この町を応援してくださっている多くの方々と出会い、代えがたい元氣と勇気をいただいております。これからも、「町民」という思いを分かち

合い、共に汗を流す町長でありたい。そんな初心を忘れず、まちの発展のために全力を尽くしてまいりたいと、心新たにしております。

さて、昨年を振り返りますと、新たな天皇皇后陛下がご即位され、令和の時代の幕開けとともに、栗山町第6次総合計画後期実施計画がスタートした、大きな節目の一年でありました。基幹産業の農業においては、町民の皆様の願いが通じ、水稲・畑作物ともに豊作の年となり、また、農商工の若者たちが、新たな産業、地域おこしに挑戦される姿に触れるとともに、本町が誇る小林酒造酒蔵群の日本遺産認定、北広島ボールパーク構想の始動など、栗山新時代に向けた、新たな息吹、

可能性を実感した一年でありました。また、次代を担う栗っ子たちが、文化・スポーツの各分野、全道・全国の舞台で大きく活躍され、学校教育等を通じて地域と関わり、「ふるさと栗山」にたくさんの方を届けてくださいます。

本年におきましても、これら本町が持つ可能性、潜在力をさらに引き出し、賑わいと魅力溢れる「栗山新時代」創生に向け、一つひとつの施策を着実に前進させるとともに、日赤病院の改築問題や介護福祉学校の存続問題など、大きな町政課題とも正面から向き合い、町民の皆様と議論を重ねながら、未来に誇れる、まちの確かな基盤を築いてまいります。

「誰もが笑顔で、安心して暮らすまち」実現のため、今後も、職員一丸となり、全力で町政に取り組んでまいりますので、皆様のお一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、今なお台風被害の爪痕が残る、姉妹都市・角田市の一日も早い復興を心から念願いたしますとともに、新しい一年が町民の皆様にとりまして、希望に満ちた明るく健やかな年でありまようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。町議を代表しまして、一言ご挨拶を申し上げます。

希望に満ちた輝かしい令和2年の新春を、町民の皆様ご健勝にてお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より、議会運営に対しまして、皆様の温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、天皇陛下の退位・皇太子殿下の即位に伴うさまざまな儀式や元号が「令和」と改元され、歴史的な節目の年となりました。

また、台風19号による記録的な大雨で、多数の河川が氾濫し、多くの地域で大規模な浸水が発生するなど、かつて経験したことのない災害が発生し甚

大な被害をもたらした年でもありました。姉妹都市の角田市の被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに1日も早い復興をお祈りいたします。

町議会では、近年の大規模災害に対する非常時において、町災害対策本部と連携するとともに、二元代表制の趣旨に則り、栗山町議会業務継続計画（BCP）を昨年9月に策定し、議会として、議員としての役割の再確認をしたところでもあります。

さて、昨年4月に町議会議員選挙が行われましたが、結果的には平成27年に続き無投票となり、町民の意思を反映する機会がなかったことは誠に残念であります。そのような中、3人の新

任議員が誕生し、議会に新たな風を吹かせ、闊達な議論が行われております。

町民の皆様代表である議員のなり手問題は、地方議会全体の問題であり、議会のあり方そのものが問われていると言えます。議会がどのような形であれば議員を志す方が増えるのか、議員のなり手問題を含め、議員の報酬と定数について調査研究を行い、次の選挙までに一定の結論を出したいと考えております。

また、今年で16年目を迎える議会報告会の開催を2月上旬に予定しています。議会、議員が説明責任を果たし、町民の皆様と対話を通じて、さまざまなご意見を頂戴したいと考えておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

現在、本町が直面している課題は、一朝一夕に解決できないものばかりであります。これらの課題に対し、町民の皆様にとつて、よりよい議決となるよう、議会基本条例の趣旨を踏まえ、不断の改革に努めてまいりたいと決意を新たにしております。

終わりに、この一年が町民の皆様にとって健やかで希望に満ちた最良の年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

議員のなり手問題と議会のあり方を考える



栗山町議会議員 鵜川 和彦

健賀新年

本年も
よろしくお祈りします

町長 佐々木 学
副町長 三浦 匠
ほか職員一同

議長 鵜川 和彦
副議長 藤本 光行
議員 大西 勝博

農業委員会
会長 吉田 寿栄
同代理 小川 信一
監査委員 谷田 進太郎
大西 勝博

選挙管理委員会
委員長 鈴木 英雄
同代理 古林 義弘
公平委員会 坂口 由紀子
中川 昇

教育委員会
委員長 南條 宏
同代理 湯地 定曉
国民健康保険運営協議会
会長 北 輝男
同代理 橘 一也

都市計画審議会
会長 早坂 義幸
同代理 三田 源幸
社会教育委員
委員長 藤井 吉美
副委員長 田村 賢治
副委員長 原田 優司

スポーツ推進委員
委員長 岡山 典弘
副委員長 永池 英彦

